

# 高エネルギー加速器研究機構技術職員シンポジウムに参加して

涌井義一\* 齋藤 彰\*\*

工学研究科・工学部技術部 \*装置開発技術系、\*\*環境安全技術系

平成19年1月11日(木曜日)～12日(金曜日)の日程で高エネルギー加速器研究機構(KER)3号館セミナーホール(写真1)にて「平成18年度高エネルギー加速器研究機構技術職員シンポジウム」が開催されました。全学技術センター(工学研究科)技術部から、涌井、齋藤の計2名が参加しましたので報告します。

このシンポジウムは、技術職員の更なる技術の向上と活性化を目的に開催されているもので、今回は全国の国立大学法人、国立高等専門学校法人、大学共同利用機関法人から90名あまりの参加者がありました。シンポジウムの日程(表1)と内容は以下の通りです。

表1. 日程表

1日目		2日目	
受付	11:30～13:00	ポスターセッション	8:30～9:15
開会挨拶	13:00～	休憩	9:15～9:30
機構長挨拶	13:00～13:10	状況報告	9:30～11:00
技術調整役挨拶	13:10～13:20	小憩	11:00～11:10
特別講演	13:20～14:10	意見交換	11:10～12:00
小憩	14:10～14:15	昼食	12:00～13:00
状況報告	15:30～16:45	状況報告	13:00～13:45
小憩	15:15～15:30	意見交換	13:45～14:45
意見交換	16:50～18:00	まとめ	14:45～15:00
懇親会	18:30～20:00	閉会挨拶	15:00～

## 内容

- 【1】技術職員の人材の有効活用と運営について
- 【2】技術職員の組織及び運営の評価について
- 【3】資質向上と自立した技術職員の後継者育成について
- 【4】社会貢献等の取り組みについて

1日目はお昼頃に受付を済ませた後、実行委員長の開会の挨拶で始まり、機構長挨拶、技術調整役挨拶と続き、特別公演「ガン早期診断のための



写真1. 講演会場建物

放射光を用いたX線画像技術の開発」を聴講しました。その後、途中で休憩を挟み、状況報告、意見交換会へと進行していきました。その後、交流ラウンジ2に場所を移動し、懇親会が催され、しばしの団欒を楽しみました。

2日目は午前中の部ではポスターセッション（写真2．参照）から始まり、途中休憩を挟み、状況報告、意見交換会と進み、昼食の時間となりました。

午後の部では状況報告から始まり、最初に涌井技術専門員が「工学技術系（装置開発）の集中化について」という題目で発表しました。

（写真3．参照）その後、状況報告、意見交換会を経て、「まとめ」と題した全体の総括を行った後、最後に副実行委員長から閉会の挨拶があり、2日間の日程で開催された技術職員シンポジウムの幕を下ろす運びとなりました。



写真2．ポスターセッションの様子

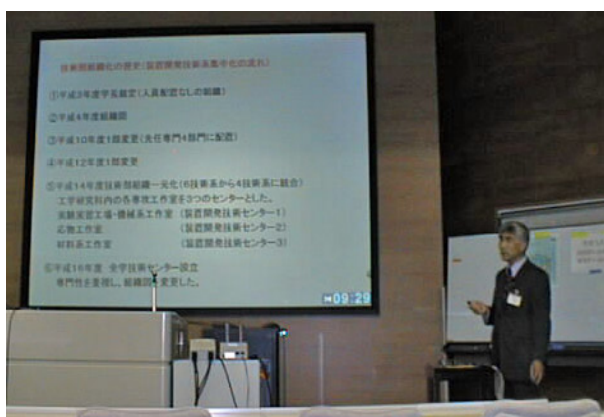


写真3．発表の様子

今回参加した感想を述べさせていただきますと、全体発表では、各技術部組織についての 運営、評価、年齢構成、後継者の育成、資質向上、社会貢献活動、新規採用並びに定年退職後の再雇用問題などの取り組みについて、各関係機関の現状報告や情報・意見交換が行われましたが、「技術部組織」といっても運営面に関していえば、人事権や予算執行権などの裁量権が技術部に与えられていないところが大半を占めており、今後その辺りを解決していかないと将来的に運営していくには難しいのではないかと思います。

また、各大学・高専や研究機関との方針や組織の規模や人数構成などは異なるため、管理職業務の場合でも専従している方もみえれば、管理職業務と通常の技術業務を兼務されている方もみえるのが現状です。したがって、早急な改革を望むのは酷かもしれませんが、お互いの意見集約の場としてこのような機会が今後、技術部組織の取り組みに参考になればよいかと存じます。最後になりましたが、さまざまな議論・討論が展開され、全国の技術職員の方々と相互理解を深めることができ、有意義な時間を過ごすことができ、関係者並びに参加者の方々にこの場を借りてお礼申し上げます。